

学級・授業づくりセミナー

～「主体的・対話的で深い学び」を目指す研修へ～

8月6日(水)に原町第二小学校を会場として、今年度の学級・授業づくりセミナーを開催しました。教員や大学生に加えて高校生まで幅広い参加者層となり、35名の参加がありました。

各教科等の講座では、国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・外国語、総合的な学習の時間、特別支援、学級経営に分かれ、2部制で一人2講座に参加しました。それぞれの先生方の日ごろの授業実践に基づき、不安や悩み等を含めた問題解決の方策を話し合ったり、問いや評価等、学級・授業づくりの本質的な要素にふれた話題を扱ったりしながら、対話を通して学びを深めようとする姿が見られました。



「学生と教員が一緒になり、話し合える機会や授業について考える時間がとてもよかった」「参加された先生方のような信頼の厚い教員を目指したいと改めて感じた」といった感想が寄せられ、各参加者の満足度が高い研修となりました。

今後も研修者ファーストを目指し、研修内容の充実を図っていきます。

〔社会教育担当より〕

相双を十七字で奏でよう

ここ数年、夏休みの宿題の定番であった「ふくしまを十七字で奏でよう」の参加数が、少しずつ減っています。

この事業は、夏休みの思い出を親子で書くだけではありません。日々の授業や運動会・文化祭などの行事、遠足や修学旅行をはじめとする学校での体験活動、家族旅行やキャンプといった家庭での体験活動を、親子で十七字を通して表現し合うという目的があります。

その日に学校で学習、体験したことについて十七字で振り返り、その日のうちに家庭で十七字の返事や感想を書いてもらうことによって、家庭での会話のきっかけになってほしいと思います。

相双域内では、授業の振り返りや日記として十七字を活用しているという話も聞きます。歯科保健のスローガン作りを親子で十七字を活用したという例もありました。明日からでも教室やご家庭で、十七字の触れ合いを始めてみませんか。

「対話的な学び」を具現する授業デザイン例



相双教育事務所では、「主体的、対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント」や仕掛けや発問のヒントを載せた授業デザイン例を Web 上の特設コーナー「Sou Sou 授業づくり支援ナビ」に掲載しています。5分間程度の授業動画付きのものもあります。ぜひご活用ください。

〔管理担当より〕

不祥事根絶プロジェクト

福島県教育委員会では、信頼される教育環境の構築を目指し、「不祥事根絶プロジェクト」に取り組んでいます。

県教育長、教育事務所長による学校訪問をはじめ、県臨床心理士会監修の「これだけは10箇条」の策定や、教職員向けのチェックシート・事例集の配付など、教職員の意識改革を促す多面的な施策を展開。さらに、啓発ポスターの掲示や、地域と連携した広報活動も促進し、学校と地域の信頼の輪を広げています。

子どもたちが安心して学べる環境づくりに向けて、県全体で一丸となって取り組む本プロジェクトは、教育の未来を守るための大切な一歩です。

今後の主な研修会等の予定(9月～12月)

9月12日(金)	中学校教育課程研究協議会(かしま交流センター)
9月19日(金)	小学校教育課程研究協議会(かしま交流センター)
9月20日(土)	ビブリオバトル相双地区予選会(南相馬市情報交流センター)
9月26日(金)	避難12市町村における少人数教育に対応した教授法に関する教員研修(東日本大震災・原子力災害伝承館 双葉町産業交流センター)
9月30日(火)	学力向上マネジメント等研修会(万葉ふれあいセンター)
10月1日(水)	幼児教育のカリキュラム研修会(万葉ふれあいセンター)
10月23日(木)	特別支援学級等新任担当教員研修会(かしま交流センター)
10月29日(水)	特別支援学級教育課程研修会(かしま交流センター)
11月20日(木)	福島県教育研究発表会
11月26日(水)	家庭教育支援者研修会(南相馬市立図書館)
12月5日(金)	域内学力向上推進研究協議会(万葉ふれあいセンター)
その他、各種研修や協議会の予定については、「令和7年度相双域内行事一覧」及び各開催通知をご確認ください。	



相双

SOU SOU

No.134

教育広報「相双」第134号
令和7年9月9日

編集・発行

福島県教育庁相双教育事務所
福島県南相馬市原町区錦町1-30



<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70610a/>



「二学期のめあて」

相双教育事務所次長(総務)兼総務社会教育課長 滝本 裕彦

最近、体はますます太ってきましたが、頭の方はだんだん痩せてきたように思います。考え方がスリムになるなら良いのですが、新しい事を理解するのが億劫で、面倒臭いは省略し、楽な方、楽な方を選んでいくというのが正直なところです。

そのようなことは、仕事の上でも支障が出ます。「ああ、そうそう。」と、何となく分かっている風でやり過ごしたら、結局、間違っていて、二度手間になるなど。

このままでは、まずい。まずは、日々の学びや気づきに、意識を向けたい。時間は連続していますが、今日は確かに新しい時間です。新たな発見、昨日ま

でとは違う選択、新たな挑戦や新たな反省があるはず。まさに「日々是好日」です。

失敗からの学びもしっかりと意識したい。子曰く「過ちを改めざるを過ちと言う。」という格言があります。また、「5キロやせたら100万円の得」という記述も見かけました。体重低下と血圧低下は思考力の回復のみならず、医療費の節約も期待できそう。履けなくなったズボンも、また履けるかもしれせん。

しかし、三日坊主では成りません。慌てず、一日一日を大切に、心身の健康に取り組んでいこうと思います。



「開校から5年目を迎えて」

川内村教育委員会教育長 堀本晋一郎

令和3年度に開校した義務教育学校の川内小中学園、幼保連携型の認定こども園かわうち保育園が5年目を迎えました。また、校舎を活用した村営塾である興学塾やピアノ教室、放課後こども総合プラン、コミュニティハウス(地域文化伝承教室)「にじいろ」での様々な交流の機会や活動も充実し、新たな教育システムが少しずつ進化をしているところであります。特に「にじいろ」の利用者は令和3年度1185人、令和6年度3460人と大幅に増加しております。5年前を振り返ると再任用教員であった私自身も含め、すべての教員が義務教育学校未経験者であり試行錯誤の連続でした。管理職が意識して、家族的で温かい職場環境を整え、小中の文化の違いを互いに理解した上で「全教職員ですべての子どもを

育てよう」という熱い思いを伝えました。子どものためならば伝統を尊重しながらも前例に固執せずに職員で十分な対話を重ね積極的に改善を図り、新たな伝統を築いてきました。また子どもの人格形成において、親や先生との「縦の関係」、友人との「横の関係」はもちろん、地域社会の大人や大学生などとの「斜めの関係」が自己肯定感、社会性、心の安定、生きる力を育む上で重要な役割を果たします。今後も「にじいろ」や地域学校協働本部を活用し「斜めの関係」を充実させたいと考えています。子どもから大人までの生涯学習環境を集約した学校を地域の核として、川内村がめざす「復興に関わり世界で活躍できるたくましく心しなやかな人材の育成」と新しい村づくりに貢献していきたいと思っています。

ふくしまっ子健康マネジメントプラン

【ふくしまっ子健康マネジメントプラン】

自己マネジメント能力を育み、一人一人の健康課題を解決すると共に、課題解決のプロセスを通して、未来に生きる資質・能力を育むことを目的とした事業です。

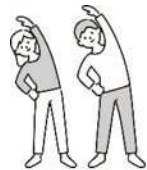
「自分手帳」活用事業をメイン事業とし、今後は下記の事業を実施する予定です。

○なわとびコンテスト

実施時期 令和7年9月～令和8年1月
対 象 県内公立小・中・義務教育学校
方 法 各学校で任意の時期・時間に実施
web上で記録を登録

○健康マネジメント優秀校表彰

各種表彰 「ふくしまっ子元気大賞」
「体力向上優秀校」
「食育推進優秀校」



不登校・いじめ等対策推進事業 スペシャルサポートルーム(SSR)

【不登校・いじめ等域別シンポジウム】

6月25日(水)に万葉ふれあいセンターで実施された域別シンポジウムでは、令和4年12月に改訂された生徒指導提要の内容やいじめ防止対策法第30条第3項に基づく調査結果報告にも触れながら、不登校・いじめ等対策について要点を共有することができました。また実効のないいじめ防止基本方針の改訂についても協議を深めることができました。

【スペシャルサポートルーム(SSR)]

実践校 尚英中学校 中村第一中学校
中村第二中学校 向陽中学校
原町第一中学校 原町第二中学校

不登校児童生徒の心の居場所づくり、空き教室を活用した魅力的な環境づくり、新たな不登校を生まない安心できる空間づくりに関する取組を行っております。

イノベーション人材育成推進教員活用事業 (算数・数学)

【算数・数学科授業研究会】

6月19日(木)に鹿島中学校、7月3日(木)に原町第三小学校で、それぞれ授業公開及び研究協議を行いました。子どもたちの学びに基づき、参観者一人一人が自分事として算数・数学の学力向上に向けた授業改善の視点や方策について協議に取り組む姿が見られました。また、福島大学教授森本明様より、「数学の授業における生徒と教師の取り組みに学ぶ」と題した講演をいただきました。今後は、以下の日程で実施する予定です。

10月14日(火) 第2回小学校授業研究会 原町第三小学校

11月25日(火) 第2回中学校授業研究会 鹿島中学校

なお10月は国立教育政策研究所学力調査官小山雅史様、11月は福島大学教授森本明様より、全国学力・学習状況調査の結果や見方・考え方を踏まえた授業改善の在り方についてそれぞれ講演をいただく予定です。

イノベーション人材育成推進教員活用事業 (理科)

【イノベーション人材育成授業研修会】

公開授業、研究協議、大学の先生による理科授業づくり講演等を通して、STEAM教育の視点を生かした授業や探究的な授業について実践に基づいた研修を行っています。明日からの授業づくりにつながる研修です。以下の日程で研修を予定しています。

9月10日(水) 理科実験講座

浪江町ふれあい交流センター

10月10日(金) 中学校授業研修会 中村第一中学校

11月26日(水) 小学校授業研修会 川内小中学園

10月10日(金)の授業研修会では福島大学准教授坂本篤史様、11月26日(水)の授業研修会では福島工業高等専門学校教授濱崎真一様よりそれぞれ授業づくりに関する講演をいただく予定です。

。小学校の先生は、現在理科を担当されていないなくても参加できます。

ふくしま英語力向上事業

【ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業】

小中連携及び外国語教育推進リーダーの指導法等の普及を目的とした事業です。今年度は9月から10月にかけて新地町及び南相馬市で授業公開や協議会等を実施し、研修を深めていく予定です。

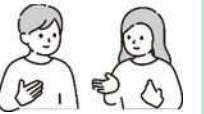
【小中高連携推進事業】

パフォーマンステストで南相馬市の小中高の児童生徒の学びをつなぐことを目的とした2年目の事業です。以下の日程での授業公開等を通してパフォーマンステストの活用方法をより深めていきます。

9月19日(金) 原町高等学校

9月29日(月) 原町第一中学校

10月20日(月) 原町第一小学校



未来を拓く教育を 相双から

超スマート社会を担う産業人材育成事業

【超スマート社会を担う産業人材育成事業】

本事業の小事業である「専門教育魅力発信応援事業」において、域内の小中学生が専門高校で体験学習を行います。7月15日(火)に連絡会議が行われ、以下の通り決定いたしました。

○相馬農業高等学校

9月19日(金) 高平小学校・大甕小学校

11月18日(火) 石神第二小学校

11月28日(金) 原町第三中学校

作物の収穫・洗浄、牛舎の管理作業・肉牛のブラッシング、花きのポット詰め、庭木の難、レベル測量、がんづきの製造等を行う予定です。

○ふたば未来学園高等学校

9月24日(水) 学び舎 ゆめの森

ふたば未来学園高等学校については、今年度新規の指定校として小中学生と体験学習を行う予定です。



ふくしまの誰一人取り残さない 教育体制整備事業

【幼稚園、小・中学校、高等学校等への相談・研修支援】

各学校等のニーズに応じて、特別支援学校のセンター的機能を活用した相談支援や研修支援を実施しています。今年度は7月までに、相談支援12件、研修支援6件の依頼がありました。引き続き、相談・研修支援の依頼を受け付けておりますので、ご活用ください。

【特別支援教育体制促進協議会】

各市町村教育委員会、保健や福祉の関係団体等が参加し、各市町村における就学前から学校卒業後までの切れ目ない支援体制の構築に向けた具体的な取組や課題について協議します。第1回を6月17日(火)に万葉ふれあいセンターで開催し30名が参加しました。第2回は2月6日(金)に開催し、各市町村の支援体制整備について協議する予定です。

ふくしま幼児教育研修センター事業

7月24日(木)・25日(金)、8月6日(水)・7日(木)に福島大学附属小学校で幼児教育実技研修会・幼小連携研修会を開催しました。相双域内の幼稚園等の教諭等も参加し、子どもの運動遊びに関する講義や、幼保小の学びのつながりの理解、特別な配慮を必要とする子どもへの支援についての協議が行われました。

また、8月18日(月)には「架け橋期の学びをつなぐ推進モデル地区実践研究」公開保育が、推進モデル地区3年目である南相馬市で開催されました。午前の部では、かしま保育園が公開保育を行いました。午後の部では、参観した子どもの姿や保育者の働きかけを基に、架け橋期の子どもの学びをどのようにつないでいくか、どのようなカリキュラムを作成すればよいかについて協議しました。

どちらの研修会においても、参加した先生方はご自身が担任する子どもの姿を思い浮かべながら、熱心に情報交換をしていました。校種の壁を越えて協議を深めることが、架け橋期の学びの充実につながります。

